

# 最新機器を積極的に導入。患者に負担が少ない検査で早期発見を促す

埼玉県にある三愛病院とトワーム小江戸病院は、「予防医学」の観点から人間ドック、脳ドックに力を入れている。早期発見・早期治療を実現するための最新機器はもちろん、診断する専門医についても万全な体制を敷いている。

## 最先端医療機器で

### 診断精度を高める

高度な医療技術と最先端機器を駆使して病気の早期発見、早期治療に尽くす――埼玉県さい

たま市の三愛病院で地域医療に携わる済陽輝久理事長が掲げている基本方針だ。完成したばかりの新外来棟で受診できる人間ドックも基本方針に沿って内容を

入することで患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

## 三大成人病の脳卒中は脳ドックで予防する

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

「まず安心ということでは当院には循環器、脳、消化器など各分野で経験豊富な医師、画像診断の専門家がそろっています。安全・迅速は最新検査機器を導

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

期治療に尽くす――埼玉県さいたま市の三愛病院で地域医療に携わる済陽輝久理事長が掲げている基本方針だ。完成したばかりの新外来棟で受診できる人間ドックも基本方針に沿って内容を

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。

をいっそう充実させて「早期発見・早期治療、そして日々の健康管理に欠かせない医療サービス」として提供されている。安心・安全・迅速・信頼。それは三愛病院の人間ドックのキーワードだと済陽理事長は説明する。

入すること、患者さんの体にかかる負担を軽減しています。例えばCT装置を定期的に最新の装置に置き換えることで、患者さんの放射線被ばくリスクをより抑えることができるのです」

用途に合った装置を使い分けることで、患者さんの体にかかる負担を軽減できるのです」

人間の両面の質を高め充実させることで「患者さんの信頼を得ることができる」と済陽理事長は考えている。



三愛病院  
放射線科部長  
**趙成済氏**

ちょう・なりすみ／1986年順天堂大学医学部卒業。2003年同大学静岡病院放射線科医科長。07年同大学放射線科准教授。12年三愛病院勤務、放射線科部長。医学博士。日本医学放射線学会認定放射線科専門医。



松弘会  
理事長  
**済陽輝久氏**

わたよう・てるひさ／1975年、東邦大学医学部卒業。85年三愛病院設立。97年医療法人社団松弘会理事長。93年、埼玉県で先駆けて腹腔鏡手術を実施。2005年2月に当日立位、歩行が可能な人工関節置換術を学会で発表している。

## 導入されている最新機器



### CT Aquilion ONE

三愛病院の人間ドックで使われている東芝社CT装置「Aquilion ONE」は320列という幅広い部位が一度に撮影でき低被ばくと高画質を両立させている。



### MRI Ingenia 3.0T

3.0テスラの性能を持つフィリップス社MRI装置「Ingenia 3.0T」は三愛病院に10月導入予定。

## 複数の医師が判定する「多重読影」システムの脳ドック

三愛病院の系列であるトワーム小江戸病院（埼玉県川越市）で受診できる「脳ドック」は脳の状態を調べる脳MRI、血管の状態を調べる脳MRA、首の血管の状態を調べる頸部MRA検査と血液検査などにより脳卒中の危険因子を発見する健康診断。最新鋭の3.0TのMRI装置を使用し、常勤の脳神経外科医師と大学病院脳神経外科教授による複数の専門医の読影（画像診断）により、正確な診断を行っている。



Signa HDxt3.0T



GE社製MRI装置「Signa HDxt3.0T」と画像。0.5mmの細い血管の描出ができ、小さな動脈瘤の発見が可能に。

### 診断に当たる大学教授たち



自治医科大学附属さいたま医療センター  
脳神経外科教授  
**田中裕一氏**

1980年、自治医科大学卒。医学博士。日本脳神経外科学会評議員、日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。



防衛医科大学校  
名誉教授  
**島克司氏**

1972年、信州大学医学部卒。医学博士。日本脳神経外科学会急会理事長、日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。

校名誉教授の島克司医師は「脳神経は症状が出てからでは手遅れになるケースが多い」と脳ドックによる早期発見の重要性を説明する。脳卒中は50〜60代に特に多く、同院が導入する3.0T MRI装置によって「異常が見つかる頻度は4割にもなる」（島医師）という。もう一人の医師、埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科教授の松居徹医師は、そこで重要なことは「覚悟」であるとアドバイスする。「がんであればすぐに治療すればいいのですが、脳ドックによって脳動脈瘤が発見されても、すぐに手術するというにはなりません。ガイドラインでは手術の選択基準を5ミリと規定しているが、5ミリ以上にな

っても破れない人もいれば2〜3ミリで破れる人もいます。脳ドックで瘤の存在を知った受診者は破裂の恐怖と闘いながら日常生活を営むことになる。そこで「リスクのある手術をするのかしないのか、どのように経過を診ていけばいいのか、患者さんとしてしっかり話し合う必要があります」（松居医師）。

**自覚症状がなくても受診を**

では「覚悟」ができたとして、どのタイミングで受診すればいいのだろう。もう一人の担当医、自治医科大学附属さいたま医療センター脳神経外科教授の田中裕一医師は「MRIは侵襲がほ

とんどないため、若いときにいつからでも検査ができます。脳ドックを最初に受ける時期としては、脳動脈瘤や脳梗塞などの異常所見がみつかると頻度がまだ少ない40歳頃がよいと思われる。ただし、頭痛やめまい、しびれなどの自覚症状があったり、身内で脳卒中を経験して不安を感じている場合などは、MRIには色々な種類の検査がありますので、早めに受診することをお勧めします」と話す。

三愛病院の名称は患者さんへの愛と思いやりの心、地域を愛する心、医療に奉仕する心の三つの愛から名付けられた。自分の体を心配する家族への愛に込めるために人間ドック、脳ドックを受けてみてはいかがだろう。

## 問い合わせ先

### 三愛病院 健診センター

埼玉県さいたま市桜区田島4-35-17  
TEL: 0120-866-175  
受付時間: 8時30分〜16時30分（月曜日〜土曜日）

### トワーム小江戸病院（脳ドック）

埼玉県川越市下老袋490-9  
TEL: 049-222-8156  
受付時間: 9時〜17時（月曜日〜土曜日）

## 検査内容

### 【三愛病院】

※完全予約制、すべて税込

■人間ドック（基本）	42,000円
医師診察／身体計測／生化学検査／消化器検査／呼吸器検査／超音波検査／循環器検査	
■脳ドック（基本）	57,750円
医師診察／身体計測／生化学検査／超音波検査／MRI検査／MRA検査	
■心筋梗塞予防ドック（基本）	52,500円
■乳がん検診	9,975円 など

### 【トワーム小江戸病院】

※完全予約制、すべて税込

■脳ドック	39,000円
医師診察／MRI検査／MRA検査	
■脳ドック＋認知機能検査	49,000円
医師診察／MRI検査／MRA検査／機能検査	
■フル脳ドック＋生化学検査（ここカラダ）	39,000円
医師診察／MRI検査／MRA検査／生化学検査／動脈硬化検査	
■大学病院教授脳ドック（ここカラダ）	50,000円
医師診察／MRI検査／MRA検査	

※「ここカラダ」とは検診予約サイトのこと。